



徳成寺 寺とつながり 第157号 2020年1月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

—発行責任者—

2020年明けましておめでとうございます。今年もよろしく

住職

お願いします。昨年末とある講座で「今だけ・金だけ・自分だけ」

大山健児

という言葉を見ました。現代を生きる私たちを言い得て妙だなあ

坊守

と感心しました。「災害のない一年を…」と誰しも願いますが、この

大山ひとみ

私たちの在り方を不問に付すわけにはいかないでしょう。お経の中に

「遠く観ることあたわず」という言葉が出てきます。「今だけ・金だけ・

自分だけ」の人間の有り様を、遥か昔から仏様はそう見抜いているのです。

今だけでない、過去と未来を、金だけじゃない大いなるものを、そして

自分だけじゃない、人々と共に見通して生きよと勧めて下さっています。



大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています。長男です。

無事に新しい年を迎えることができました。今年も1年よろしくお祈りします。あるご家庭に伺った際に、「歳を重ねると時間が経つのが早い」と仰られた方がいました。私は「まだそんなに年をとってないと思うんですが、自分も時間が経つのが早いと思います」と返事すると「きっと仕事からだとするよ。ノルマとかで詰められている時の時間の経ち方とか長いからね」と教えて下さいました。確かに楽しい時間はあっという間ですが、苦手なことをしている時は長く感じます。写真はゾウの時間ネズミの時間と言うベストセラーです。心拍数によって生きられる年数は変わってくるそうですが、心臓の鼓動の回数は殆ど差はないということで時間は人間だけではなく他の生物にとっても平等なのだそうです。同じ時間を過ごすのであれば、心の持って行き方を学ぶことが良い時間の過ごし方につながるかもしれないと感じました。

